

開催日時：2013年2月9日午前9時半～13時まで

場所：バンコク都内バンコク日本語キリスト教会 (BJCC)12A階図書室

出席者：9名

内容：

1. アイスブレイク【ファシリテーター:平山 (午前9時半～10時40分)】

グルーピング (アイスブレイク) 「昨晚夕食を食べ終わった時間の早い人順に並ぶ」

アクティブリスニングワーク (2名一組、3回相手を変えて実施)

2. ワールドカフェ【ファシリテーター：小田 (10時50分～13時)】

議題1・・・タイから何を私たちは学んだのか

議題2・・・タイでの経験を私たちはどのように自分や社会に活かすのか

振り返り

各議題での主な意見

【タイから何を私たちは学んだのか】

- ◆ 日本は自分は何を大切にしているか、これが明確ではないのでは？→タイは明確
- ◆ 日本は逆算 (減点) 文化、タイは流れの文化、その場の流れや雰囲気が一番重要視する
- ◆ 自分たちの核になるもの (判断基準) を持っている (どう持つのか)
- ◆ カウチャイ (理解する・・・タイ語) の原義は【心に入る】、頭に入ることではない。心に入って始めて心が理解する。
- ◆ 多様性が共存しやすい社会、しくみ→これは精巧に設計されている
- ◆ 助け合い・譲り合いの精神→最近は変化しつつある
- ◆ 日本は暗い、タイは明るい。社会の雰囲気を大人が積極的に作っている
- ◆ 笑顔を心がけている。日本の関西みたい (ま～え～やん、しゃ～ないやん文化)
- ◆ 寛容、とりあえず相手の行動を尊重し許す姿勢→本当は許していません・・・
- ◆ 食べることに困らないからこそにじみ出る自信
- ◆ 人を受け入れる姿勢、排除ではなくまず受け入れる姿勢
- ◆ 否定から入らない
- ◆ 英語が下手でもとにかく話す、間違いを恐れない。
- ◆ お金は分かち合い生きる為の道具の一つと考えている
- ◆ お金の離れが良い人は良い人
- ◆ 臨機応変、アドリブに強い、フレキシブルな対応が出来る
- ◆ 心がどう思うかが全ての判断基準→これにそった行動をとった人を責めない文化
- ◆ 差別や区別をあまりしない→しかし階級意識は根強くある
- ◆ 心の赴くまま、自分のペースを最重要視する
- ◆ 自分に余裕がある→余裕がなくなるとパニックになるが。。



- ◆ 人と一緒にいるのが好き、個人行動は嫌い。でも自分勝手
- ◆ 人と時間を共有することが幸せと感じる人が多い
- ◆ 生活の中に自由度を確保している

【タイでの経験を私たちはどのように自分や社会に活かすのか】

- ◆ お金をかけずにできる放任と結束の仕組み→このバランス感覚を常に心がける。全面的に信用＝思考停止、思考停止はしないで常にすべては移り変わるものと考え行動・思考する
- ◆ 自分の殻を破る努力→自分に（自分の心に）タメを常に持つことを心がける
- ◆ 食が保障されることが大事。食がお金や他者に左右されない自分を取り巻く生活環境は、自分自身の仕事や社会への参加態度に影響を与える
- ◆ 地元、田舎との密接なコンタクト
- ◆ 生きることが多様であることを認識し、多様な働き方のパターンを提示する
- ◆ 過保護はダメ、突き放されたほうが人は考える、頭を使って考える
- ◆ 寄付を積極的にする。手持ちのお金を小額、社会に還流させる
- ◆ お互い様の意識を持って相手を否定しない
- ◆ 上（マスコミ、上司）からの意見を疑ってかかる、自分で考え判断するクセをつける
- ◆ タイにいる日本人にタイ社会との接し方を教えてあげる
- ◆ 自分の行動を変える。1. 怒らない、2. ルーズな部分を持つ、3. 隙を見せる
- ◆ 社会の雰囲気をつくるのは大人の責任、もっと笑顔を日常のあらゆる場面で心がける
- ◆ 常に鏡を見て自分がどんな表情で仕事をしているのかチェックする。
- ◆ 道德教育を自分の家庭から行う。人の品性は教育から始まる
- ◆ 間違いを恐れぬ、ポジティブ思考で行動する、結果は二の次
- ◆ 【～であるべき】とは言わない
- ◆ 進んで人に声をかける。進んで【助けて】もらう
- ◆ 多様な価値観を否定しない。人の意見を同意していなくても一旦は受け入れる
- ◆ ゴールを設定してプロセスを詰めるのではなく、日常のプロセス一つ一つに真剣に向き合い、心で判断する
- ◆ こうしたらダメ、間違ったらダメとの思考を外す。そうしないとう出来ない自分にイライラしてしまう。
- ◆ 自分を守らない、ノーガード戦法（心に壁を作らないという意味）、固定観念に囚われない
- ◆ 家族を大切に
- ◆ 違いを楽しみ、その理由を発見する喜びを心がける
- ◆ 次の世代を守り育てるのは今の 30 代、40 代の役目
- ◆ 言いにくいことでも言わないと変わらないものは積極的に言うことも中年の社会への義務



雑感

内容の濃いワークが出来ました。中々独りでは自分の経験を整理し、どう活かすのかをまとめることは難しいと思います。こうして定期的に自分の存在意義や問題意識をトリートすることは大切であると感じました。次回は4月第三週目に開催予定です。

